

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成29年2月13日

【四半期会計期間】 第123期第3四半期(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

【会社名】 神東塗料株式会社

【英訳名】 SHINTO PAINT COMPANY, LIMITED

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 玉村隆平

【本店の所在の場所】 兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号

【電話番号】 大阪06(6426)3355(代表)

【事務連絡者氏名】 企画・経理室部長 青山忠嗣

【最寄りの連絡場所】 兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号

【電話番号】 大阪06(6426)3355(代表)

【事務連絡者氏名】 企画・経理室部長 青山忠嗣

【縦覧に供する場所】 神東塗料株式会社東京事業所
(東京都江東区新木場四丁目3番17号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第122期 第3四半期 連結累計期間	第123期 第3四半期 連結累計期間	第122期
会計期間	自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日	自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日	自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日
売上高 (百万円)	17,170	16,134	22,885
経常利益 (百万円)	658	693	1,098
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	284	311	454
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	202	226	639
純資産額 (百万円)	16,022	16,503	16,458
総資産額 (百万円)	36,963	36,174	35,955
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	9.17	10.06	14.68
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	41.6	43.7	44.0

回次	第122期 第3四半期 連結会計期間	第123期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日	自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	2.63	3.91

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 「潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額」については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策により雇用・所得環境には改善がみられたものの、国内の設備投資の伸び悩み及び新興国の景気減速への警戒感から、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループにおきましては、こうした経済状況の中で新製品の開発による積極的な販売活動及びアジア市場での海外事業のさらなる展開とともに、コスト競争力の一層の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は16,134百万円（前年同四半期比6.0%減）となりました。損益面では、営業利益は667百万円（前年同四半期比0.8%減）、経常利益は693百万円（前年同四半期比5.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は311百万円（前年同四半期比9.7%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

（塗料事業）

アルミ電着塗料は、第3四半期に入り国内主要ユーザー向けで出荷が回復基調にあるものの、上期の落ち込みを挽回するまでには至らず、また、中国や台湾及びタイ向けの輸出が減少したため、売上は減少いたしました。

工業用電着塗料は、電設資材及びハウスメーカー向け出荷は順調に推移しましたが、一部主力ユーザーの生産が低調に推移しましたので、売上は減少いたしました。

粉体塗料は、鋼製家具メーカー向けが低調であったものの、新製品の拡販、新規ユーザー獲得及び既存ユーザー向けのシェア改善が順調に推移したことから、売上は増加いたしました。

工業用塗料は、中国の景気減速等の影響を受け、建設機械及び工作機械ユーザー向け出荷が低調に推移したものの、ブラインド、ゴルフボール、窯業建材ユーザー向け出荷が回復し、売上は前年並みとなりました。

建築塗料は、主力の汎用品の価格競争激化、集合住宅改修向けの出荷減少に加え、工事受注の不調も継続したことから、売上は減少いたしました。

防食塗料は、東日本地区の橋梁物件、プラント及び耐候性鋼処理剤が低調であったことに加え、上期において比較的好調であった西日本地区の橋梁物件、プラント向けが第3四半期に入り低調に推移したため、売上は減少いたしました。

道路施設用塗料は、主力ユーザーの発注減、及びすべり止め舗装材の伸び悩みにより、売上は減少いたしました。

軌道材料製品は、スラブ補修材の出荷が減少したこと等により、売上は減少いたしました。

自動車用塗料は、一部主力ユーザーの輸出が不調であったこと等により、売上は減少いたしました。

この結果、塗料事業の売上高は14,944百万円（前年同四半期比6.6%減）、経常利益は684百万円（前年同四半期比3.8%増）となりました。

(化成品事業)

受託生産している化成品事業の売上高は1,189百万円(前年同四半期比1.9%増)、経常利益は8百万円(前年同四半期は1百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態の分析

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ現金及び預金が605百万円増加した一方、建物及び構築物(純額)が147百万円、投資有価証券が243百万円減少したこと等により36,174百万円(前連結会計年度末比219百万円増)となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ、支払手形及び買掛金が387百万円、設備支払手形が138百万円、未払金が89百万円増加した一方、短期借入金が281百万円、長期借入金が162百万円減少したこと等により19,670百万円(前連結会計年度末比173百万円増)となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が156百万円、非支配株主持分が35百万円増加した一方、為替換算調整勘定が163百万円減少したこと等により16,503百万円(前連結会計年度末比45百万円増)となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループが支出した研究開発費の総額は170百万円であります。また当第3四半期連結会計期間の研究開発による新製品・新品種は下記の通りであります。

(塗料事業)

- ・「ユカトップローラーエボ蚩」二液厚膜エポキシ樹脂塗料 床用塗料

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	112,000,000
計	112,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成28年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成29年2月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	31,000,000	31,000,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は1,000株であります。
計	31,000,000	31,000,000	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成28年12月31日		31,000		2,255		585

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成28年9月30日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成28年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 21,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 30,932,000	30,932	-
単元未満株式	普通株式 47,000	-	-
発行済株式総数	31,000,000	-	-
総株主の議決権	-	30,932	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の「株式数」の欄には証券保管振替機構名義の普通株式が6,000株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る普通株式の議決権が6個含まれております。

【自己株式等】

平成28年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) 神東塗料株式会社	兵庫県尼崎市南塚口町 六丁目10番73号	21,000	-	21,000	0.07
計	-	21,000	-	21,000	0.07

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成28年10月1日から平成28年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,380	2,985
受取手形及び売掛金	7,619	² 7,675
商品及び製品	1,857	1,802
原材料及び貯蔵品	592	545
その他	425	425
貸倒引当金	15	16
流動資産合計	12,859	13,416
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,819	2,672
機械装置及び運搬具（純額）	1,558	1,498
土地	15,814	15,797
その他（純額）	301	398
有形固定資産合計	20,494	20,366
無形固定資産	250	243
投資その他の資産		
投資有価証券	1,826	1,583
その他	529	569
貸倒引当金	5	4
投資その他の資産合計	2,351	2,148
固定資産合計	23,096	22,758
資産合計	35,955	36,174

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,177	² 6,565
短期借入金	3,801	3,519
未払法人税等	145	152
賞与引当金	246	121
役員賞与引当金	13	10
その他	849	² 1,120
流動負債合計	11,234	11,490
固定負債		
長期借入金	2,297	2,135
再評価に係る繰延税金負債	3,915	3,915
役員退職慰労引当金	6	7
退職給付に係る負債	1,313	1,383
その他	730	739
固定負債合計	8,263	8,180
負債合計	19,497	19,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255	2,255
資本剰余金	585	585
利益剰余金	4,852	5,009
自己株式	3	3
株主資本合計	7,689	7,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100	118
土地再評価差額金	7,924	7,924
為替換算調整勘定	59	103
退職給付に係る調整累計額	29	29
その他の包括利益累計額合計	8,114	7,968
非支配株主持分	654	689
純資産合計	16,458	16,503
負債純資産合計	35,955	36,174

(2) 【四半期連結損益及び包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	17,170	16,134
売上原価	13,646	12,584
売上総利益	3,523	3,550
販売費及び一般管理費		
発送費	445	425
広告宣伝費及び販売促進費	71	111
従業員給料及び手当	833	843
賞与引当金繰入額	49	54
退職給付費用	47	61
減価償却費	134	98
試験研究費	150	170
その他	1,117	1,117
販売費及び一般管理費合計	2,850	2,882
営業利益	673	667
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	17	19
受取賃貸料	17	17
持分法による投資利益	137	128
その他	16	14
営業外収益合計	188	179
営業外費用		
支払利息	13	9
為替差損	180	139
その他	9	5
営業外費用合計	203	153
経常利益	658	693
特別損失		
固定資産除却損	20	9
特別損失合計	20	9
税金等調整前四半期純利益	637	683
法人税等	284	316
四半期純利益	353	366
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	284	311
非支配株主に帰属する四半期純利益	68	55

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	30
為替換算調整勘定	115	48
退職給付に係る調整額	0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	38	122
その他の包括利益合計	151	140
四半期包括利益	202	226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	131	165
非支配株主に係る四半期包括利益	70	60

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日至平成28年12月31日)	
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日至平成28年12月31日)	
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。	

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

前連結会計年度(平成28年3月31日)

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)
PT. Shinto Paint Indonesia	66百万円 (590千USドル)

当第3四半期連結会計期間(平成28年12月31日)

該当事項はありません。

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
受取手形	-	390百万円
支払手形	-	296百万円
設備関係支払手形	-	79百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
減価償却費	462百万円	475百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月14日 取締役会決議	普通株式	154	5.00	平成27年3月31日	平成27年6月8日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月13日 取締役会決議	普通株式	154	5.00	平成28年3月31日	平成28年6月9日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	16,003	1,167	17,170	17,170
セグメント利益又は損失()	659	1	658	658

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	658
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	658

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	14,944	1,189	16,134	16,134
セグメント利益	684	8	693	693

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	693
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	693

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	9.17円	10.06円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	284	311
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	284	311
普通株式の期中平均株式数(千株)	30,981	30,979

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年 2月13日

神東塗料株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ 監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松 本 学 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柴 原 啓 司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている神東塗料株式会社の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成28年10月1日から平成28年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、神東塗料株式会社及び連結子会社の平成28年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。